

Future

近未来のまちを創造しよう

近未来、私達はどんな“まち”に暮らしているのでしょうか？

「もう自分達はジイさん、バアさんだ」と思うより、大切な子や孫達がどのような未来を生き、心豊かな暮らしをしているか、考える必要はないでしょうか。



私達は、まちづくりの道具としてLRT（未来型路面電車）を導入し、『安い・便利・楽しい・生活の足』の実現を目指して活動する団体です。

利用者の意見や希望を世論にして政治や行政とともに活動することが必要です。

HP <http://okinawa-lrt.org>

もしくは「**トラム 未来**」で検索してください。

「トラムで未来をつくる会」は、**カッコいい・安い・便利**・そんな未来型の路面電車を何本もまちの中に走らせることを提案します。

道路からそのまま乗れるので、階段もエレベーターも不要。まちのあちこちに駐車場があるので、遠くまで歩かなくても乗れます。**ベビーカーも、自転車も、車イスに座ったまま**でも乗れます。線路があるので、どの道をどの方向に走っているかも簡単にわかります。



近年の路面電車は、そのほとんどがバリアフリーです。

こんな電車が何本も走り、他の交通機関との乗り換えも便利にすればマイカーを使わない移動が大幅に楽になります。

建設コストも鉄道の中では、最も安く作れるので運賃が安くなり、小さな県でも長期的な維持や運行が可能な交通機関です。

そして何よりも鉄道には、延々と続いてゆく線路があるので旅情や郷愁が湧いてくるのです。やがて、まち中を走る線路に沿って住宅や商店ができ、買い物もしやすい**新たなまち**が生まれてきます。

そこは、日常生活を営むために車による移動を必要とせず、暮らしやすいエリア【**コンパクトタウン**】となるでしょう。

高齢者が暮らしやすく、子育てもしやすい、活気のある未来都市をつくるためにLRTを活用しようではありませんか。

あなたは、知っていますか??

「沖縄本島中南部」(うるま市以南の17市町村)について!



県土の20%ほどの面積。東京23区より狭い地域です。
県民の80% 110万人以上が暮らしています。
調査から推測すると、80万台以上の車があります。
つまり、多くの人、多くの車が、狭い所でひしめいている状況です。
1世帯当り、約2台の車を保有し、その維持費を各個人が負担しています。
その負担金額は、年間¥55万~¥75万ほどになります。

車はノロノロ、人はイライラ。

⇒ 運転マナーの低下・交通事故増加



行く先々で駐車場を探し、
移動に時間と手間と
お金がかかっています。

沖縄県の人口構成について

2017年(平成29年)には老年人口が若年人口を上回ることが予想され、超高齢化社会の到来は確実です。

高齢になっても自由に移動できる交通手段がのぞまれるのではないのでしょうか!



緑の美しい街並みと路面電車が一体となって環境に配した都市のシンボルとなっています。



路面電車は車との共存もスムーズです。



楽しい街並みには路面電車が似合います。

